

4. 全体成果概要

海域断層に関する既往調査結果の収集及び海域断層データベースの構築では、今年度は、南西諸島海域の反射法地震探査データ、速度データ、坑井データ等を収集し、すべてのデータの品質管理を実施するとともに、南西諸島南部海域の三次元地震波（P波）速度構造モデルを構築した。

また、海域における既往探査データ等の解析及び統一的断層解釈では、今年度は南西諸島南部海域の反射法地震探査データの再処理を実施し、同海域の断層解釈を行った。さらに、断層の連続性を地質構造と海底地形から確認し、断層リストを作成するとともに、サブテーマ（3）の実施者である国立研究開発法人防災科学技術研究所へ提供した。

海域における断層モデルの構築では、サブテーマ（2）で解釈を終えた日本海の断層分布から主断層を抽出し、津波や地震動の記録が存在するM7程度以上の断層モデルについて、強震動や津波のハザード評価に資する検討を行った。